

ふれあい

発行／西区井口明神学区社会福祉協議会

題字／森井 一幸 広大名誉教授

町別世帯数

草津新町二丁目	828
井口明神一丁目	544
二丁目	358
三丁目	334

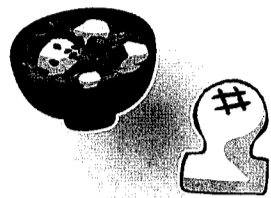
(平成30年1月末日現在)

とんど



一月十四日(日)、井口明神二丁目の公園で、伝統行事であるとんどが行われました。男性陣有志が早朝から採りに行った竹をやぐらに組み、正月飾りや子ども達の書き初めを並べます。

定刻の十一時三十分子ども達が点火。とんどを囲んで無病息災を願いました。組んだ竹が火が登っていく様はまるで生き物のようでした。竹のパン、パンと爆ける音が遠くまで響いていました。

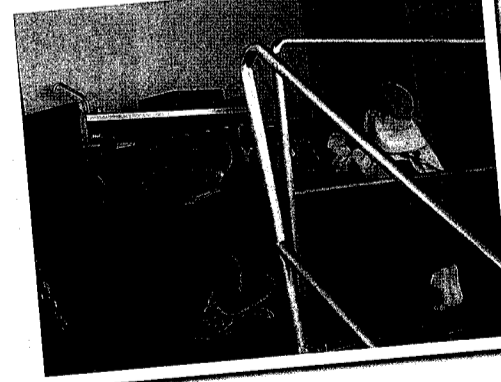


企業との合同防災訓練

十一月十五日(水)、アルパークとの合同防災訓練が行われました。

各町内から八名と、アルパークの方々、井口明神保育園の園児三十名が参加し、消防士、救急隊員、消防団の方々と一緒に、震度七の地震が起きたことを想定して行われました。

起震車での揺れの体験は、あらかじめ思い描いているので対応ができますが、いっどこで起きるかわかりません。消火器の使い方も、回を重ねてこられた方は落ち着いてできましたが、とっさのときにあわててしま



ます。まず、落ち着きましょう。地震のとき、同時に考えないといけないのが、火事を起こさないようにすることです。それから、津波が来るとも予測して行動しなくてはなりません。耐震マンションにお住まいの方でも、土地が揺れるとマンションも揺れます。ドアが開まってしまわないように、何でもいから挟むことを教えていただきました。

地震が起きたとき、携帯電話のアラームで知らせてくれますが、その携帯電話を有効に活用する為に、バッテリーを切らさ

ないようにすることです。アルパークと合同で行っている防災訓練も回を重ねてきましたが、地域との連携が大切です。平日頃、何気なく過ごしていますが、いろいろと教わり、気持ちを新たにしました。

ふれあいの窓

献血のお願い

四月十八日(水)、明神一丁目の第四公園にて、献血を行います。多数の皆様のご協力をお待ちしています。

時間は
九時三十分～十一時三十分
十二時三十分～十六時
です。



こんにちはネット

井口明神学区では、高齢者を見守る「こんにちはネット」を行っています。詳しいことは地域包括支援センターまで。

☎ 082-501-6681

又はお近くの民生委員へ。

ふれあい広場

とき 10月28日(土)
場所 井口明神小学校

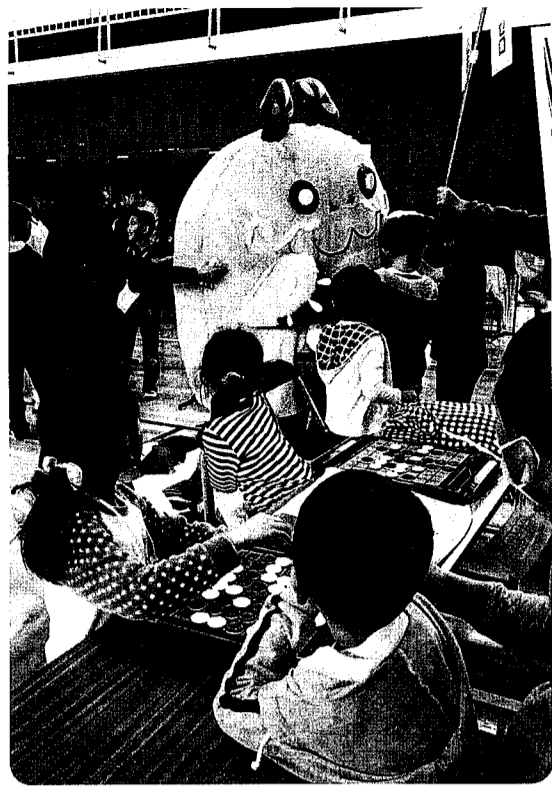
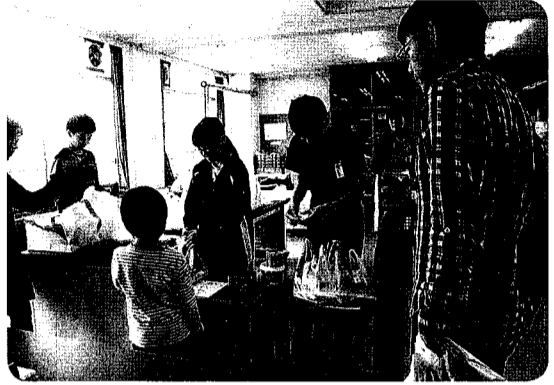
児童、先生、保護者、地域の方々がふれあう場として回を重ね、「ふれあい広場」は、三十一回となりました。

当日は台風二十二号による雨でしたが、子ども達の楽しそうな笑顔や元気な声が校舎や体育館にあふれました。

午前の部は「ふれあい発表会」。プラス演奏で始まり、合唱・リコーダー演奏・群読と練習を重ねた成果の発表です。

午後の部は先生、保護者、地域の方々が準備してきた遊びのコーナー、食バザーや作品展ポランテアも食品販売や雑巾掛けで活躍。そして、イノッコも登場。

若い力も加わって、ふれあいを深めました。



児童館まつり

館長 栗栖美恵子



十二月九日(土) 一時から児童館まつりを行いました。寒い日でしたが、校長先生・教頭先生・社会福祉協議会会長を来賓にお迎えし、たくさんの方々が参加してくれました。お菓子を貰いご満悦、さらに表彰式では各コーナーのトップ賞を手にした子ども達が満面の笑顔をみせてくれました。最後のくじ引きも、ワクワクドキドキしながら引いている様子が微笑ましかったです。

今年もたくさんの方々の笑顔と、ありがとうの声を聞く事が出来た児童館まつりになりました。これも、当日お手伝いして頂いた方々、協賛して頂いた社会福祉協議会・青少年健全育成協議会・放課後児童クラブ保護者会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。そして今後共、明神学区の子ども達の為に変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

十二月九日(土) 一時から児童館まつりを行いました。寒い日でしたが、校長先生・教頭先生・社会福祉協議会会長を来賓にお迎えし、たくさんの方々が参加してくれました。お菓子を貰いご満悦、さらに表彰式では各コーナーのトップ賞を手にした子ども達が満面の笑顔をみせてくれました。最後のくじ引きも、ワクワクドキドキしながら引いている様子が微笑ましかったです。



井口公民館人権教育講座

2月5日(月) 井口明神二丁目集会所

講師 竹内 裕

日本認知症ワーキンググループの竹内裕さんに、認知症と告げられてからの生活について、お話を伺いました。雪の散らつく公演当日、多くの方が出向かれ、認知症に対する関心の強さを感じました。竹内さんは、五十九才で認知症と診断されました。その時のショックは、想像以上のもの

で、一時は引きこもりになるほどだったそうです。そんな生活から抜け出せたのは、職場の人や友達が、病気の自分をそのまま認め、励ましてくれたからだと話されました。自分の病気を受け入れ、開き直ることができたのもこの時からだったそうです。「すこしのサポートで、普通

いきいきサロン

草津新町二丁目

九月二十六日(火)、草津新町二丁目集会所にて、書道家の小林恵子氏をお招きし、「遊書」を行いました。自分で好きな字を決めて、思い思いに書を楽しみました。練習を始めて一時間も経つと勢いのある字が書けるようになり、墨のかすれるところや濃いところ、それぞれの個性が出てきました。最後に色紙に清書をして終わりました。短い時間でしたが、筆で楽しいひとときを過ごしました。



の生活ができますよ」と今では、笑顔で公演活動やポランテアに励んでおられます。症状は千差万別でも、自分の病気を話すことで、まわりの人に聞いてもらい、理解してもらおうことが、とても大切だと言われます。すぐに忘れてしまう生活も工夫をしながら、「今日は楽しい。明日はもっと楽しい。明後日以後のことは、深く考えない」と、笑顔で前向きにそして周りの人への気配りも忘れない、竹内さんの生活ぶりに、勇気を頂きました。

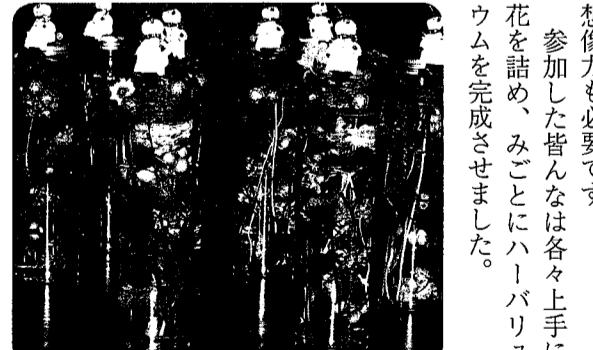
ハーバリウム作り

12月16日(土) 井口明神二丁目集会所



小学生対象の子どもウィンドアースクールとして、岩本弘美先生のご指導でハーバリウムを作りました。「ハーバリウム」は、透明な容器にドライフラワーやプリザーブドフラワーを詰め、そこにパラフィンペーパーオイルを注いで作る素敵なインテリアです。先ずは作り方とコツを覚えてもらいましたが、実際に作るとなかなか難しい。下に入れた花が浮かないように茎で押さえたり、プラスチックの飾りに枝を巻きつけたり。又、詰め過ぎると空間が無くなり光が当たってもキラキラと輝きにくくなるそうです。オイルを注いでみないと、出来栄がわからないので想像力も必要です。

参加した皆さんは各々上手に花を詰め、みごとにハーバリウムを完成させました。



アルパーク天満屋 TENMAYA

アルパークインフォメーション

おトクは毎週やってくる!

毎週木曜日は

ポイントアップデー

POINT UP DAY

※ポイント対象外店舗がございます。あらかじめご了承ください。 ※内容は予告なく変更・中止する場合がございます。

カード会員募集中!

●お問い合わせ: TEL082-501-1000 アルパークインフォメーション

三井不動産